

# 自治体クラウドによるコスト削減(滋賀県草津市)

## 取組概要

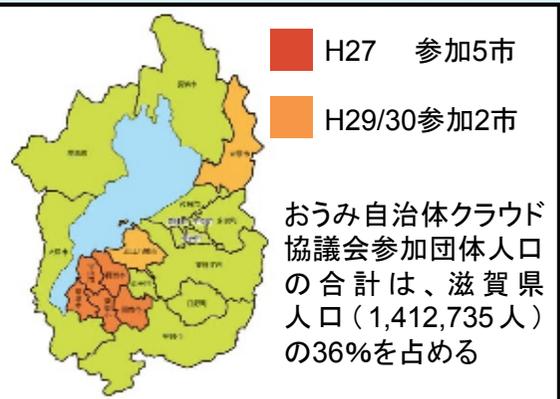
参加団体で「おうみ自治体クラウド協議会」を組織し、外部データセンターや標準パッケージシステムを活用して基幹システムの共同利用を進め、コスト削減およびセキュリティレベルの向上、業務の標準化を実現。当初5団体であったが、現在は7団体が参加している。

人口	草津市 132,885人	湖南市 54,917人
	守山市 82,705人	近江八幡市 82,250人
	栗東市 68,862人	野洲市 51,098人
		米原市 39,543人
		(H30.1.1現在)

担当 おうみ自治体クラウド協議会事務局  
(草津市総合政策部情報政策課)

## 取組の効果

- ・想定を大きく超える**“現行経費比較6割”**のコスト削減。
- ・協議会の枠組みを使って、基幹系のみならず、様々なシステムの共同利用を推進。



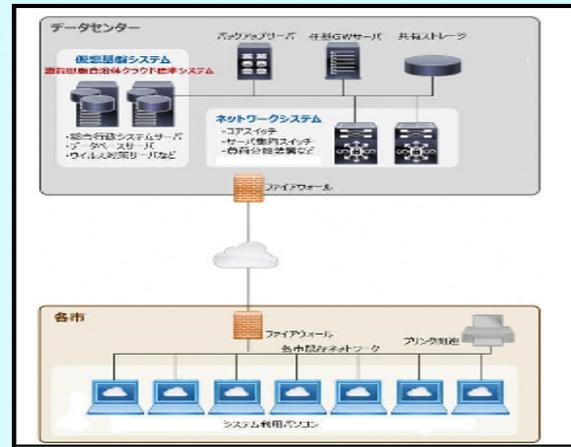
おうみ自治体クラウド協議会参加団体

## 創意・工夫した点

- ・経費負担をシンプルにするためシステム単価は完全人口割
- ・県内の他団体も視野に入れた滋賀県版標準システムの構築
- ・競争を加速する調達仕組み

## 他団体へのアドバイス

システムの変更や共同利用には抵抗があるかもしれないが標準パッケージで一通りの業務ができ、システムが切り替わってしまえば、そのシステムに合わせて仕事ができるはずである。自治体クラウドの費用削減効果は非常に大きく、導入への作業は大変に見えるが、思い切って取り組んでほしい。



おうみ自治体クラウド構成イメージ